

特別企画：2020 年度長野県内建設業売上高ランキング〈速報〉

上位 30 社の総売上高は 4915 億円、9 年連続増加 売上高トップは角藤、増収企業は前年度から 5 社減少

はじめに

2020 年度は一年を通じ、国内外の経済が新型コロナウイルスの影響を受け続けた。通勤や営業活動を含めた人流抑制策は、次第に中身を変えながら長期化。人やモノの動きが抑えられることに端を発する形で、企業活動・企業業績へのマイナスの影響が連鎖的に広がった。

建設業界も例外ではない。2019 年度は米中貿易摩擦の余波を受け、製造業が厳しさを増す中、国土強靱化計画などを背景に堅調な景況感を維持した建設業だが、感染症の拡大に伴い同年度終盤からマインドが低下。2020 年度も伸び悩み、景気 DI（TDB 景気動向調査）は秋口まで前年度を下回る一方、逆風に見舞われながら主要業界の中では比較的高い状態で推移してきた。

この間、県内大手建設業者の業績はどう推移したのだろうか。帝国データバンクでは 2000 年度以降、県内建設業売上高ランキング（上位 30 社）を作成しているが、今回 2020 年度に到来した各社の決算（2020 年 4 月期～2021 年 3 月期）を対象としたランキングを集計した。当ランキングは 5 月 20 日時点で判明したデータに基づいており、連結決算を採用している企業もすべて単体の数字を用いている。なお、3 月決算で株主総会が終了していない企業の数字は決算案である。

調査結果（要旨）

■上位 30 社の総売上高は 4915 億 3000 万円、前年度比 3.8%増

2020 年度県内建設業売上高ランキング集計における上位 30 社の総売上高は 4915 億 3000 万円で、前年度から 3.8%増加した。前年度を上回るのは 9 年連続となり、総額は調査開始後 3 番目に高い。伸び率は 2 年連続で増加している。

■売上高トップは角藤、北野建設が 2 位、守谷商会在 3 位

売上高トップは、2021 年 1 月期に年売上高約 772 億 700 万円を計上した（株）角藤（長野市）。前回、調査開始後初めてトップとなったが、今回も首位の座を維持した。2 位は北野建設（株）（長野市）、3 位は前回からワンランクアップした（株）守谷商会（長野市）。

■増収 17 社、減収 13 社、伸び率トップは新津組

売上高上位 30 社のうち、増収となった企業は 17 社、減収は 13 社。増収企業は前年度（22 社）から 5 社減少している。10%以上増加したのは 10 社で、前年度比 5 社減。伸び率が最も大きかったのは、2021 年 3 月期に年売上高約 94 億 3100 万円を計上し、前期から 45.0%増加した（株）新津組（小海町）。同社を含め、5 社が 20%以上増加している。

1. 上位30社の総額は9年連続増加して5000億円に迫る

2020年度決算（2020年4月期～2021年3月期）を対象とした県内建設業売上高上位30社の総額は、4915億3000万円となり、前年度から3.8%増加した。増加は2012年度以降9年連続。伸び率は2年連続で増加し、総額は過去3番目に高い水準に達している。

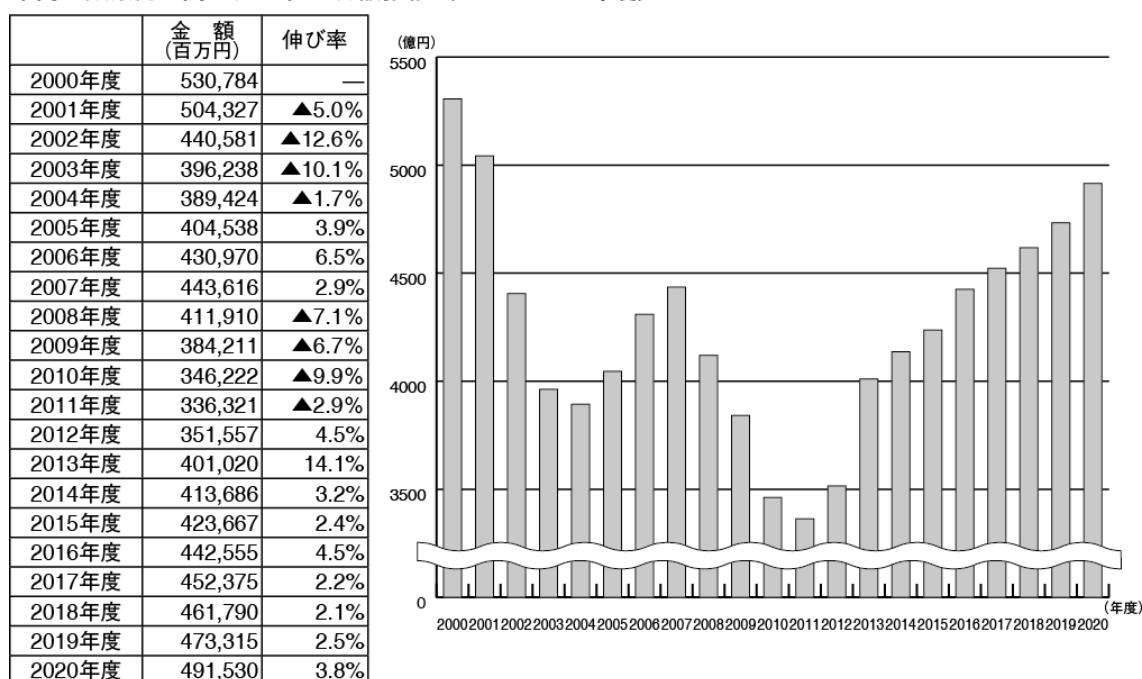
2000年度にスタートした当集計。同年度の5307億8400万円が総売上高のピークである。2001年度も5043億2700万円と2年連続して5000億円を突破。しかし、その後は市場の縮小により減少傾向をたどり、特にリーマン・ショック後は停滞感を強めた。2011年度には3363億2100万円まで後退し、2年続けて3500億円未満にとどまるとともに、調査開始後最低を記録。2011年度はピークの2000年度から36.6%の減少である。

2012年度以降は、景気対策の強化を背景に景況感が徐々に回復したこともあり、全国的に建設市場が拡大。そうした傾向は、東京五輪開催に向けた準備や大都市圏の再開発、さらに国土強靱化計画の推進などにより顕著となっていく。県内でも近年、建設需要は官民とも安定基調で推移。広域で事業を展開する企業、営業力やブランド力、技術力を有する企業などが幅広い需要を獲得し、総売上高は右肩上がりを続けてきた。

新型コロナウイルス感染拡大に直面した2020年度。その影響は広範囲に及び、建設業も例外ではなかったが、従前からの堅調な受注に基づき売上げを伸ばす企業も多く、総売上高の増加傾向に変化はなかった。ただ、減収企業の数が前年度を上回ったこと（次頁参照）、第30位の企業の売上高が前年度から10億円以上低下（60億円台→50億円台）したところなどに厳しい環境だったことが示されている。

建設業の場合、工事が期をまたぐケースが多く、一般的に完工時に売上げに計上されるため、景気の変動が単年度の業績に反映しにくい面もある。また、コロナ感染症の行方に加え、業界内では輸入依存度の高い木材の調達難、価格高騰といった新たな懸念材料が浮上しており、今後そうした影響を注視していく必要が生じている。

県内建設業売上高上位30社の総額推移（2000～2020年度）



2. トップは2年連続で角藤、2位北野建設、3位守谷商会

2020年度県内建設業売上高1位は、2021年1月期に772億700万円を計上した(株)角藤(長野市)。同社は前回、調査開始後初めてトップとなったが、今回もその座を維持している。2位の北野建設(株)(長野市)は2021年3月期に734億2500万円を計上。同社は、2018年度まで19年連続してトップだった。3位は前回からワンランクアップした(株)守谷商会(長野市)。以下、綿半ソリューションズ(株)(飯田市)、(株)TOSYS(長野市)、(株)ヤマウラ(駒ヶ根市)、セキスイハイム信越(株)(松本市)と続き、この7社が売上高200億円以上を確保している。なお、今回新たにランクインしたのは4社。

30社を4地区別によると、「北信」13社(構成比43.3%)、「中信」「南信」各7社(同各23.3%)、「東信」3社(同10.0%)。また、業種(産業分類コード)別では「土木建築工事」が13社(同43.3%)に及び、「建築工事」が7社(同23.3%)で続く。金額ベースでは、「土木建築工事」が2375億1000万円と、全体の48.3%を占めている。

地区別内訳(2020年度)

	社数	構成比(%)	金額 (百万円)	構成比(%)
北信	13	43.3	283,874	57.8
東信	3	10.0	35,958	7.3
中信	7	23.3	67,546	13.7
南信	7	23.3	104,152	21.2
合計	30	100.0	491,530	100.0

3. 増収企業17社、減収企業13社、減収企業は過去10年間の最多と並ぶ

30社中、増収となったのは17社(構成比56.7%)、減収は13社(同43.3%)。増収企業が減収企業を上回ったものの、減収企業数は過去10年間の最多(2011年度、2014年度、2017年度)と並んだ。増収企業が減収企業を上回るのは10年連続となるが、増収企業数は前年度(22社)から5社減少している。

10%以上増収したのは10社(前年度15社)。伸び率が最も大きかったのは、16位にランクされた(株)新津組(小海町)。官公庁関連の大型物件の完工が重なり、2021年3月期に前期比45.0%増の94億3100万円を計上した。売上高トップの(株)角藤(長野市)も、首都圏エリアで受注が引き続き堅調だったほか、地方における大型物件の完工も加わり、2021年1月期は前期から28.3%増加している。このほか、神稲建設(株)(飯田市、27.9%増)、木下建設(株)(飯田市、25.5%増)、北野建設(株)(長野市、25.1%増)も前期を20%以上上回った。

増収・減収企業数の推移(2000～2020年度)

	増 収		減 収			増 収		減 収	
	社 数	構成比	社 数	構成比		社 数	構成比	社 数	構成比
2000年度	13	43.3%	16	53.3%	2011年度	17	56.7%	13	43.3%
2001年度	10	33.3%	20	66.7%	2012年度	21	70.0%	9	30.0%
2002年度	8	26.7%	22	73.3%	2013年度	29	96.7%	1	3.3%
2003年度	5	16.7%	24	80.0%	2014年度	17	56.7%	13	43.3%
2004年度	16	53.3%	14	46.7%	2015年度	18	60.0%	12	40.0%
2005年度	17	56.7%	13	43.3%	2016年度	19	63.3%	11	36.7%
2006年度	24	80.0%	6	20.0%	2017年度	17	56.7%	13	43.3%
2007年度	18	60.0%	12	40.0%	2018年度	17	58.6%	12	41.4%
2008年度	10	33.3%	20	66.7%	2019年度	22	73.3%	8	26.7%
2009年度	10	33.3%	20	66.7%	2020年度	17	56.7%	13	43.3%
2010年度	10	33.3%	20	66.7%					

2020年度県内建設業売上高ランキング(上位30社・速報)

順位	前年度 順位	社名	所在地	決算 (月)	売上高 (百万円)	伸び率 (%)
1	1	(株) 角藤	長野市	1	77,207	28.3
2	2	北野建設 (株)	長野市	3	73,425	25.1
3	4	(株) 守谷商会	長野市	3	34,395	▲ 6.4
4	3	綿半ソリューションズ (株)	飯田市	3	27,898	▲ 24.5
5	5	(株) TOSYS	長野市	3	25,667	2.5
6	6	(株) ヤマウラ	駒ヶ根市	3	23,309	13.3
7	7	セキスイハイム信越 (株)	松本市	3	21,891	8.8
8	8	ルートイン開発 (株)	上田市	3	18,318	▲ 6.3
9	14	神稲建設 (株)	飯田市	6	14,271	27.9
10	9	吉川建設 (株)	飯田市	5	14,124	▲ 17.4
11	15	ワールド開発工業 (株)	長野市	6	11,750	12.4
12	13	ミサワホーム甲信 (株)	松本市	3	11,361	1.2
13	10	(株) マナテック	長野市	9	10,888	▲ 14.1
14	12	(株) 岡谷組	岡谷市	5	10,726	▲ 7.4
15	17	(株) 岩野商会	長野市	7	9,872	3.8
16	25	(株) 新津組	小海町	3	9,431	45.0
17	11	北信土建 (株)	長野市	6	9,227	▲ 20.4
18	16	松本土建 (株)	松本市	5	9,039	▲ 10.6
19	20	(株) 竹花組	佐久市	6	8,209	1.4
20	29	木下建設 (株)	飯田市	5	7,772	25.5
21	19	(株) 青木鐵工所	長野市	4	7,691	▲ 8.3
22	27	北陽建設 (株)	大町市	5	7,275	15.6
23	—	積和建設上信越 (株)	千曲市	1	6,747	17.3
24	18	甲信アルプスホーム (株)	松本市	3	6,731	▲ 22.8
25	23	富国物産 (株)	長野市	2	6,393	▲ 5.0
26	28	(株) フォレストコーポレーション	伊那市	12	6,052	▲ 2.8
27	—	(株) アルプスピアホーム	松本市	3	5,985	8.7
28	30	パナソニックホームズ信州 (株)	長野市	3	5,598	▲ 7.9
29	—	(株) アスピア	松本市	5	5,264	19.5
30	—	矢木コーポレーション (株)	長野市	1	5,014	0.1

※このランキングは5月20日時点で判明したデータに基づいて作成した

※株主総会が終了していない企業の売上高は決算案である

※前年度30位圏外は順位を記載していない

※23位の積和建設上信越(株)は、2021年2月に積和建設信越(株)から商号変更した

※28位のパナソニックホームズ信州(株)は、2021年4月にパナソニックホームズ東海(株)から商号変更した

【内容に関する問い合わせ先】

株式会社帝国データバンク 松本支店 担当:奥原

TEL 0263-33-2180 FAX 0263-35-7763

当レポートの著作権は株式会社帝国データバンクに帰属します。

当レポートはプレスリリース用資料として作成しております。

著作権法の範囲内でご利用いただき、私的利用を超えた複製および転載を固く禁じます。